

平成30年度総合戦略事業の評価検証について

1 「人口ビジョン・総合戦略」について

加速的に進む人口減少、そして少子高齢化社会の到来は、大磯町にとって避けることができない大きな課題です。この直面する大きな課題を乗り越えるため、平成26年に制定された「まち・ひと・しごと創生法」に基づき、「新しい人の流れ」、「若い世代の結婚・出産・子育て」、「安定した雇用の創出」、「安全で安心な時代に合った地域づくり」など、国が示す地方創生の基本目標に合わせて、平成28年3月に「大磯町人口ビジョン・総合戦略」を策定しています。

地方創生に向けた取組みを効果的に実施していくため、総合戦略においては数値目標を設定し、実施した施策・事業の効果を検証し、その取組みを見直していくという一連のプロセスを実施することが求められています。こうした趣旨を踏まえ、「大磯町人口ビジョン・総合戦略」では、計画の推進のためにPDCAサイクルを導入し、施策の評価検証を行い、実施すべき施策及びKPI（Key Performance Indicators：重要業績評価指標）の見直し、それに伴う総合戦略の改訂等の必要な見直しを行いながら目標達成をめざすこととしています。評価検証においては、町内部だけでなく、外部の視点も取り入れ、評価検証の妥当性・客観性を高めるため、下記の点について総合計画審議会における評価検証を実施します。

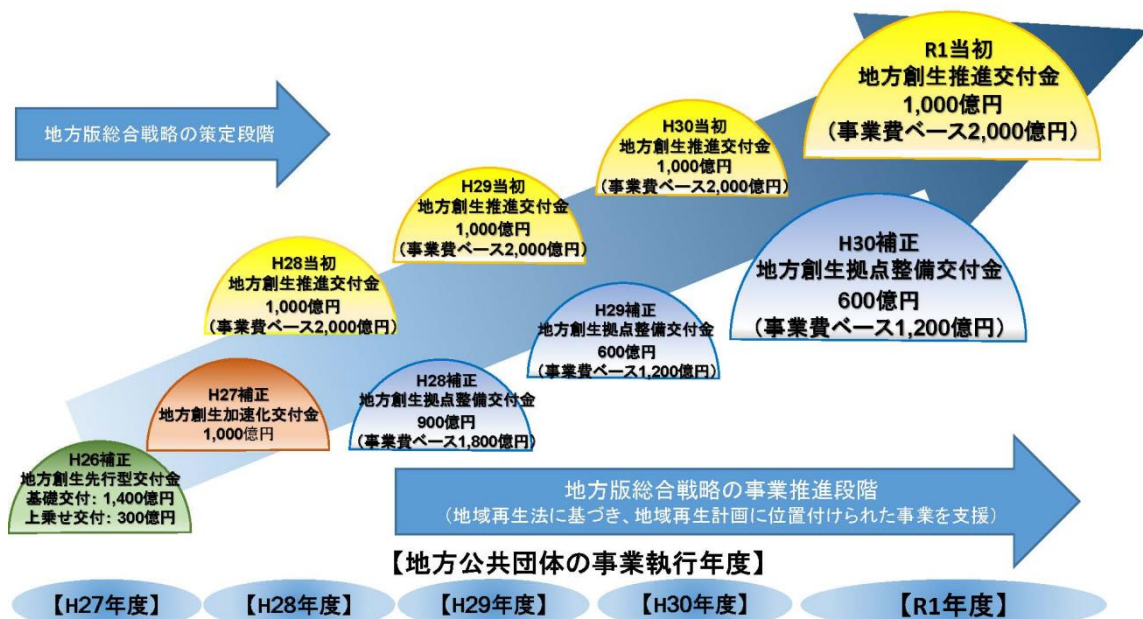
○大磯町人口ビジョン・総合戦略の評価検証（毎年度）

○地方創生関係交付金の評価検証（交付金活用後）

地方創生関係交付金の概要（イメージ）

○自治体の自主的・主体的な取組で、先導的なものを支援

○KPIの設定とPDCAサイクルを組み込み、従来の「縦割り」事業を超えた取組を支援



総合計画審議会における評価検証の結果は、その内容を参考にし、それぞれの戦略及び交付金事業ごとに町としての今後の方向性を定め、施策に反映させます。評価検証の結果は、評価シートにとりまとめ、町議会へ報告するほか、ホームページなどを活用して町民に公表します。

2 大磯町人口ビジョン・総合戦略（平成 30 年度分）の評価検証について

（1）評価検証の方法

総合戦略の 4 つの戦略に位置付けた各事業の平成 30 年度の実施状況、数値目標及び KPI（重要業績評価指標）の達成状況等について、戦略ごとに評価シートに取りまとめています。総合計画審議会では、各事業の進捗状況の確認を行い、戦略ごとに 5 段階で評価します。

（※評価基準は人口ビジョン・総合戦略評価シート（資料 2－2）の右下部を参照してください。）

